

2017年8月度 ゴルフ市場活性化委員会（GMAC）議事要旨

日 時：8月22日（火） 9時30分～12時

場 所：ゴルフダイジェスト社 会議室

出 席：26名（JGGA、NGK、JGRA、PGS、JGJA、PGA、ゴルフダイジェスト、リクルート、
楽天、ゴルフネットワーク、有識者、経産省）

司 会：平野事務局長

議事録：PGS

1. 分科会ごとの討議と全体で討議結果の発表・協議

①「40～50代掘り起こし」分科会 平野事務局長

3つの取組みを検討している。

【取組1】アンケート調査

- ・40～50代のゴルフをしていない人を対象にアンケートの実施を検討。
- ・まずは、対象者を知ることから始め、結果を業界内外に対して発信する。
- ・深掘りしたいのは、①休眠層、②未経験だが関心層の2つ。
- ・アンケートには、楽天リサーチを使う予定ではあるが、費用面が課題。

【取組2】エンジョイゴルフ DAY イベント

- ・9Hをゆっくり回れるようなゴルフコンペ+付帯イベントの実施を検討中。⇒今秋開催を目指し、東我孫子CCを第一候補とし日程調整。
- ・コンペは初心者や休眠層が参加しやすいルールとし、付帯イベントは試打会やワンポイントレッスン等を考えている。
- ・GMACホームページを活用し、初心者とコンペを行う場合の実施方法などを継続提案・発信し、一過性のイベントに終わらせないようにしたい。

【取組3】情報発信

- ・取組1のアンケート結果の発信。一例として、休眠層に対し今ゴルフに取り組むには、過去とは違い環境が良くなっているということを発信。
- ・既存ゴルファー以外にどのような手法、媒体で情報を伝えるかが懸案事項。

②「若年層活性化」分科会 加藤委員

以下のような意見が出された。対象者は大きく3つ。

- ・学生層 ・社会人(新入社員、入社年数若い)
- ・その他(結婚しゴルフを止めた人、10～20代でスポーツをやっていた人等)

【学生層】

- ・大学ゴルフ授業充実に向けた産学連携活動（Gちゃれ、クラブ提供事業等）は、一定の成果を生み出す可能性が生じている。
これを、より効果あるものとするために、「受講生に対して社会に出てからもゴルフを続けられるような優待措置を設ける」、「他大学との交流コンペの実施」、「卒業旅行や観光と絡め、ゴルフの仲間づくり施策」等の意見が出されている。

【社会人】

- ・上場企業の新入社員教育の一環（対象者は任意参加）として、「ゴルフ場見学（Gちゃれのイメージ）と異業種交流」を目的としたカリキュラムを立案し、取入れを勧誘する。この場合、本委員会参画企業を対象としてモデル施策を試験的に実施し、その後、日経カップの参加企業（ゴルフに対する企業の理解度が高い）に拡大する。
（企業のゴルフ部や福利厚生を取り纏めている部門へのアプローチ）

また、参画企業に対するコンペの割引きや、新入社員や若手が集まれば集まるほど練習場やゴルフ場が割引きになるようなグループ割も検討してはとの意見もある。

- ・プレミアムフライデーを活用する案も出された。

【その他】

- ・家族や夫婦などを巻き込んで参加出来る企業ゴルフイベントを作ってはどうか。
- ・地域自治体にも愛好家のコミュニティーがあるので、そこへアプローチする。
- ・10～20代でスポーツをやっていた層は、スポーツ好きだが、体力が追い付かず引退していく。ポスト野球・テニス・サッカーといった激しいスポーツの後としてゴルフは良いターゲットなのではないか。

③「情報発信強化」分科会 嶋崎委員

- ・レジャー白書(8/8 発刊)にて参加人口 550 万人(前年比▲210 万人)と発表されたが、GMAC として見解を出す必要があるのではないかと。
- ・ゴルフ場に関するデータは、NGK 調査の利用税から算出した人数や、その他 PGS、リクルート、アコーディア、PGM 等があるはず。そういった数字を纏め発信する必要もある。
- ・ゴルフ人口に関しては、サミット会議でも議論されており、サミット会議と GMAC で共通見解の情報発信が必要。最終的には米国の NGF のように、業界として独自に継続的な調査が必要である。
- ・対策を行うにしろ、実態がどうなのか現状の傾向を知ることが重要。例えば男女比、年齢別の数字が増えているのか減っているのか。(レジャー白書では 60～70 代が参加人口の 5 割以上)
- ・フェイスブックやツイッターの活用し、発信強化していくべきである。
- ・メディアやキーとなる情報発信者へのメーリングリストを作成し情報の発信をしていくべき。
- ・レジャー白書にフォーカスされると、色々と勘違いされてしまう。むしろ、2020 年以降もっと大きな問題が起こる点にフォーカスし、全体としての見解を述べる程度で抑え、本来の問題はこれから先が問題ですよということで、レジャー白書や生活基本調査に対して見解を出す方が良い。

2. Ringolf (リングOLF) ご提案と質疑応答 AppBank 宮下社長 (Ringolf 運営)

Ringolf は、モデルの三枝ころろさんが中心になって、スマホを媒体としたメディアで、「女性の力でゴルフを身近なものにする」というコンセプトで行っている。既存のゴルフメディアが行わないことを、全てスマホを介して行おうとしており、Web サイト、instagram、Youtube、facebook でコンテンツを発信している。閲覧は 35 歳前後が中心となっているが、Youtube、facebook では 50 歳以上の参加率が増加しており、Youtube を見るゴルファーが増えてきている傾向にある。

【質疑応答・意見交換】

- ・コンテンツを製作する際、どういうことを意識して行っているのか？
⇒プロフェッショナルにならないというのが重要で、どこまで身近にユーザー目線でコンテンツを作れるかということに大事にしている。
- ・一社でというレベルの話ではなくて、大きな業界の中で結びつけられれば、非常に面白い。今までの延長ではゴルフ業界はダメだということはわかっているので、その結びつきを探ればと思う。是非、ゴルフ場、練習場、用品、メディアと GMAC にはこ

れだけ色々と揃っているのに、活用しない手はない。

【結論】

- ・Ringolf を活用させて頂ければ、これまで GMAC だけではリーチ出来なかった層にアプローチできる可能性があると感じる。GMAC 全体、各団体、参画企業それぞれで継続してコラボレーションを考えたい。

3. 報告・検討事項

(1) 「大学のゴルフ授業」の充実を目指した産学連携活動について 北先生

①ゴルフサミット会議(7/28)で報告

7/28 開催の第2回ゴルフサミット会議にて、産学連携協定締結後1年の活動を報告。

②JGGAからのクラブ提供と各大学からの喜びの声

2017年度は22大学より申請があり、発送は順次完了している。「喜びの声」は大学ゴルフ授業研究会ウェブサイトに掲載。<http://daigaku-golf.org/joy>

③2017年前記の「Gちゃれ」実施状況

今夏は13回の開催、270名程度の参加。

④プーマコブラゴルフ提供「キャディバッグデザインコンペ」と「課外講座」の開講 武蔵野美術大学にてプーマジャパン社の協力により、ゴルフ授業の中でキャディバッグのデザインコンペを開催。

⑤上記「課外講座」の聴講および懇親会のお誘い

9/6の課外講座の聴講を希望の場合は、北先生まで連絡。

⑥研究会世話人によるリレー連載「我が大学のゴルフ授業」(月刊ゴルフ用品界提供)の経過と担当者

11月号にて目白大学・浅井先生が正課授業を開始した点を報告する。

(2) ゴルフ関連団体及び企業からのゴルフ活性化施策の実施状況報告と提案

①「PGAゴルフ市場再活性化策」の進捗状況報告 報告事項なし

②「ゴルマジ」リクルートライフスタイル

- ・8月13日時点での会員登録数：9,385名、施設利用数：12,469(昨年同日比105%)
- ・大学生インターンアルバイト10名が馬込ゴルフセンターに8/23訪問し、ゴルマジ！を体験。
- ・施設への聞き取り調査にて、昨年の不満項目は、マナー・物損問題28.3%。⇒デポジット導入、球数と時間の負担削減、メルマガでの注意喚起をより強めにしたことで不満は減少。
- ・今期の聞き取り調査では、ゴルフ部ばかりが来る7.1%、無料期間しか来ない3.0%。⇒ボランティア感覚になっている施設が増加しており、賛同施設が増えない原因。
- ・サブクーポン(レッスンクーポン)の提案を行っており、28件の施設が賛同。今後はレッスンクーポンのある施設をメルマガ・SNSで積極的に広報を行っていき、効果を検証。

③楽ゴル：ゴルフスタートアッププロジェクト」楽天

- ・若年層向け施策 楽ゴル2017年累計(7月まで)
楽ゴル提供ゴルフ場348、楽ゴルプラン送客人数17,545
練習場クーポン提供施設数375、クーポン利用数5,594
※練習場クーポンは月間1,000件以上の利用あり。

・練習場施設との取り組み

楽ゴル DAY : 7/16 ゴルフ倶楽部大樹 : 56 名

8/19 博多金の隈ゴルフヒルズ : 16 名

ターゲット層の集客には成功している。

レッスンの希望者が多い傾向にある。

今後の予定 : 8/26 宮城ゴルフガーデン、8/27 みのるゴルフセンター、9/23 ゴルフ
スミノエ、10/7 トーキョー ジャンボゴルフセンター

・その他

楽ゴルレンタルクラブを大学ゴルフ授業、G ちゃれに提供

PGS 主催競技受付終了。合計 2,071 名が楽天 GORA よりエントリー。

4,000 円クーポン配布方法を 10 月付与分より抽選 100 名に変更。

④「ゴルフ場を地域との交流の場として活用した地方創成事業」 報告事項なし

⑤「ゴルフのたすき」ゴルフネットワーク

・8 月までに番組 3 話まで放送済み。残り 1 話を 10 月から放送。

・ゴルフ初心者コースデビュー企画「教える人×教わる人 9 ホール Challenge」を
10/9 に取手国際 GC にて開催。スコアを争う競技ではなく、ゴルフの楽しさを体験
してもらおう。60 ペア 120 名募集で、先週時点 20 ペア弱の応募。12 月放送予定。

4. 各団体及び委員からの報告・連絡事項

- ・PGA : 経営戦略委員会にて再活性化に関して検討している中で、女性をゴルフに取り
込みたいと考えているが、メンバーが全員男性のため、女性の意見を反映する
ために女性の分科会を設置することが決定。現在メンバーを募集中。
- ・JGJA : 9/26(火) 16 時から霞が関ナレッジスクエアにて JGJA タウンミーティングを開
催。テーマは「日本のジュニアゴルフを歪めたのは誰だ？」。
- ・JGGA : ペアスクランブルを 7/17 に大宮 CC にて開催。参加者 106 名。有賀園や二木ゴ
ルフのネット販売で注文商品を送る際に、チラシを同梱したところ告知が効果
的にいった。
- ・経産省 : 9/9 から「ねんりんピック」が秋田県で開催される。経産省のブースにてゴル
フ関連の紹介を行いたいと考えている。パンフレット等配布を希望される団体
は 9/4 までにメールで連絡ください。

5. 馬場委員長挨拶

若い人、新しい人の動きはスマホの影響が大きいということが改めて感じられた。上手
く活用して、スマホからゴルフが活性化するような糸口になれば良いと思う。そういう
意味で、新しい知恵が必要になると思うし、良い意味で活性化委員会も活性化して盛り
上げて行ってほしいと思う。

6. 委員会開催日程

2017 年 9 月 26 日 (火) 10 時～12 時	於) ゴルフダイジェスト社
10 月 25 日 (水) 10 時～12 時	於) ゴルフダイジェスト社
11 月 16 日 (木) 9 時半～11 時半	於) ゴルフダイジェスト社
12 月 13 日 (水) 15 時～	会議

以上